

武蔵野

市議会だより

No.310

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

発行日：平成16年(2004年)5月15日
発行：武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL0422-60-1883(直) FAX0422-55-7555

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp HomePage <http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html>

第1回 市議会定例会・臨時会閉会

3月1日から開かれた第1回定例会は、3月26日に閉会しました。

今議会では、市長の平成16年度施政方針演説、これに対する7人からの会派代表質問、平成16年度各会計予算などの審議や議決のほか、11人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。

また、4月8日、会期1日で開かれた第1回市議会臨時会では、武蔵野市市税条例の一部を改正する条例ほか1議案が可決・承認されました。

第四期長期計画討議要綱について

二月二十六日の全員協議会において、第四期長期計画討議要綱について、第四期長期計画策定委員との議論が行われました。

この討議要綱は、昨年九月に発足した第四期長期計画策定委員会が、庁内ヒアリングや市民委員会、各種懇談会等からの意見などをもとに、第三期長期計画の実績評価や計画策定の基本的な考え方、今後取り組むべき課題など、第四期長期計画策定に向けて討議すべきことを取りまとめたものです。

策定委員と議論

全員協議会では、八名の策定委員との間で、子育て支援のあり方や教育問題、防犯や防災、市民活動支援など、市政全般にわたって幅広く意見が交わされました。

第四期長期計画策定委員会は、今回の議論を踏まえ、今後分野別市民ヒアリングを開催するなど、広く意見を求めた上で、第四期長期計画案を策定し、その内容について再び全員協議会で議論する予定です。

平成16年度予算が成立

一般会計は603億円

一般会計六百三億円を中心とする平成十六年度の各会計予算が、三月二十六日の本会議で可決・成立しました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業の推進が図られることとなります。(三面に施政方針、一・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要及び討論を掲載)。

平成十六年度一般会計予算、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・介護保険事業会計の四特別会計予算、水道事業会計(企業会計)

予算の各予算案については、十四名の委員からなる予算特別委員会(三月五日に設置)に付託されて審査が行われました。十五日開会の同委員会で正副委員長が互選されると、続く十六日から実質五日間にわたって審査されました。

二十六日の本会議では、井口予算特別委員長より委員会における審査の概要について報告があり、その後、報告に対する質疑、討論が行われ、討論終了後に起立により、個別に採決した結果、各予算はいずれも賛成多数で可決されました。



市長の施政方針

土屋 正忠 市長
TSUCHIYA Masatada

【市長が3月1日の本会議で行った「施政方針」の要旨です】

今年度の重点施策は、第1に、よりきめ細やかな市民の安全対策の実施、第2に、地域の防災拠点となる市立小・中学校と市役所本庁舎の耐震補強工事と防災センター(仮称)建設を行う防災施策の充実、第3に、大野田小学校校舎の建てかえ、第4に、住民基本台帳ネットワークシステムを中心とするe-Japan戦略II対策である。

第三期長期計画第二次調整計画の優先事業は、①介護保険制度の改革が焦点となる高齢者福祉の推進、②「身体・言語・自然」をキーワードに総合的に進める子ども施策の推進、③三鷹・立川間連続立体交差事業や農水省跡地に建設する新公共施設等を中心とした武蔵境のまちづくりの推進、④吉祥寺の新時代に向けた総合的なまちづくり、⑤地域で取り組む環境施策と緑化の推進を行う。

優先事業以外の特徴的施策では、①武蔵野文化事業団設立20周年記念事業、②ムーバス新規路線開設のための検討やレモンキャブの増車、③陸上競技場の底地の買い取り、④道路整備の促進、⑤公共施設のバリアフリー化推進、⑥国際・国内交流事業の推進、⑦武蔵野地域自由大学の努力と知的障害者の作業所の設置、⑧基本健診の改善、⑨中近東文化センターへの支援、⑩男女共同参画実現に向けた取り組み、⑪水道事業給水開始50周年記念事業、⑫下水道の臭気対策を行う。

そのほか、本市の所管事業ではないが、外かく環状道路、都道調布谷線、保健所再編、緑町都営住宅建てかえ、桜堤公園建てかえについては、その推移を注意深く見守り、市民の立場に立って必要な行動を行う。

より細やかな市民の安全対策を

施政方針を質す

代表質問

第1回定例会の2日目の3月3日、市長の施政方針に対して、7名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

路線商業の「コミュニティ」の再生を活性化で



島崎義司議員
SHIMAZAKI Yoshiji
(自由民主党)

市内の中小零細企業や商店街を取り巻く現状は廃業、閉店、後継者難など、著しく悪化し、このままでは商店街が担ってきた治安、交通安全、防災などのコミュニティ機能は低下する一方である。市内商業に対する総合的な施策が必要と考えるが市

長の見解を伺う。
路線商業の衰退には構造的な問題があり、この流れはなかなか変わらないと思うが、個々の店や商店街のネットワーク化、公的・生活サービスのネットワークを含めるなど総合的に商店街を活性化するには、支援策をよき研究したい。
子どもを取り巻く社会問題が深刻化している。この背景として、子どもを生み、育て、しつけるといった家族機能の低下を指摘したい。低年齢児童と親との間における家族機能について市長の見解を伺う。
家族機能を強化する必要性については同感である。家族のあり方について問題提起をして

市民意識を高揚する「防犯・防災態勢」を



与座 武議員
YOZA Takeshi
(市議会市民クラブ)

地域コミュニティを再生して防犯力を向上させていく視点から、市民が自らのアイデアで、自主的に防犯活動を行えるよう、市がサポートできないか。
今後市民の防犯活動を積極的に支援していきたい。一層の防犯を図るため、市では安全

防犯広報隊(仮称)の設置を検討している。
各種関係団体との連携強化を初め、着実に地域防犯態勢が構築されていく。さらに、平成十八年度に活動拠点となる防災センター(仮称)が完成すれば、今後の中心課題は、市民の防災意識を高めることだと考える。
その上で、現在の防災態勢に対する認識と今後の防災施策について伺う。
小・中学校を一時(いつと)避難所とし、耐震補強や備蓄については計画的に整備している。今後は木造密集地域や、来街者で特に混雑する吉祥寺に密集する建物を中心としたハザード面の安全対策、市民の意識改

公立保育 園改革 サービス向上を大前提で



川名ゆうじ議員
KAWANA Yuuji
(民主・市民ネット)

施政方針では保育園改革について、経費削減をして、一時保育、乳幼児受け入れの拡大等を行うとある。この改革では、保育サービスの向上によって、公立保育園に子どもを通わせる保護者の満足度を向上させることと、経費削減のどちらを主な目的としているのか。
サービスの向上と経費削減の両方を目的としている。公立

保育園保護者の満足度を高めるため、研修も含めていろいろな策を講じたい。
防災施策の充実について異論はないが、経済情勢を考慮してみれば、防災センター(仮称)にどの程度費用をかける必要があるのか、慎重に議論する必要がある。予定されている防災センター(仮称)はどのくらいの災害規模を想定しているのか、防災システムを考えているのか。
防災センター(仮称)としては、耐震基準の一・五倍の強度が必要とされるため、市役所の建物とは別に整備する必要がある。センターの機能については、総務委員会でも議論していただきたい。
中学生の昼食への対応について、市の費用負担が少ない方式も複数あるため、より積極的

大義なき 自衛隊派遣は違憲だ



本間まさよ議員
HOMMA Masayo
(日本共産党武蔵野市議員)

昨年三月二十日に開始された米英軍主導によるイラク攻撃は、大義なき侵略戦争であり、自衛隊が軍事作戦に加わるのは憲法違反だと考える。市長の見解は。
戦争の大義はともかく、自衛隊のイラク派遣は国会で有効に成立した特措法に基づいており、憲法違反とは到底言えない。判断は最高裁判所が行う

医療改悪や年金の引き下げ等により、社会保障の国民負担増が続いているが、高齢者にとっては個人住民税の均等割引き上げや介護保険法改正により、さらに厳しい状況になると考えられる。市長は今回、高齢者に配慮して国保税の値上げを見送ると発言したが、同様に公共料金の値上げも行わないことを求める。
財政の見通しが厳しいのは共通課題である。値上げや値下げを行うかはともかく、公共料金の見直しは一任期一回は行うべきだと考える。
都道調布保谷線の拡幅計画は、国の史跡に指定された玉川上水と交差するため、文化庁は地元自治体や教育委員会の意見を聞くとの説明があった。玉

地域のきめ細やかな防犯対策を



小林清章議員
KOBAYASHI Kiyooki
(市議会公明党)

公明党が市長に提出した防犯強化を求める要望書の六項目について、所見を伺う。
①きめ細かい地域パトロールやホワイトイグル増車の方向性はその通りだ。不審者侵入防止の校内巡回は達成できている。④防犯ブザーは安価なので、市の貸与ではなく、注意を促し

た上で、購入は各家庭の判断としたい。⑤空き交番解消等は都に要望していきたい。
国会議員の汚職等は議員の資質の問題と考えるが、所見を伺う。
基本的な資質に欠けている。公人は、公の権限を行使する際はとりわけ厳しくなくてはならない。
おおむね二つの交通不便地域へのムーバスの導入とネットワークの完成の展望を明確に示す時期が来ているのではないかと、新路線については、警視庁との話し合いなどもあり、明確には言えないが、来年十一月のムーバス運行開始十周年を迎えるまでに、ネットワークを完成

根拠なき 外環道路 撤回せよ



大野まさき議員
OHNO Masaki
(市民の党)

現在凍結中の練馬・世田谷間の外環道路に関して、昨年、国・都から大深度地下方式で建設を目指したいとする方針が示された。市長は、この方針をもつて国が正式に凍結解除したと発言しているが、国や都による正式な凍結解除の表明はない。発言の誤りを認め、考えを改めて伺う。
このほか、マニフェストの動き、地域社会の共同性のあり方、中学校給食、防災センター(仮称)の周辺自治体との連携、交通バリアフリー事業、扶養通りの改修等についての質問がありました。

若いうちから強い意志のある中学校給食の実施、乳幼児医療費補助の所得制限撤廃等に関して、議会でも多くの議員が取り上げているにも関わらず、施政方針に全く関連した記述がない理由は何ですか。
第四期長期計画の位置づけにより対応を考えた。
公立保育園改革は、新年度から正規職員を減らす一方、サービス増と内容だが、保護者の立場から見て、子どもの安全や保育の質の確保に不安がある。このほか、イラク戦争等は米国の力の外交が奏功したと市長が評価する問題、防災センター(仮称)建設だけを急がずに、木造家屋の耐震改修補助こそ急いで進める必要性、市主導の交流事業の見直しの必要性等についての質問がありました。

※「施政方針」

「平成16年度施政方針並びに基本的施策」は、武蔵野市役所のホームページ(<http://www.city.musashino.tokyo.jp/>)でご覧いただけます。また、市役所2階の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。



子どもの居場所を、遊ぶ気力・体力の充実を



やすえ清治議員
YASUE Seiji
(自由民主党)

あそべえのような、子どもの居場所となる施設の充実も重要だが、子どもたちの外で遊ぶうとする気力や体力、人と触れようとする気力が失われていることが本質的な問題である。子どもたちの居場所づくりについて、またこれらの問題解決に重要な役割を果たすセカンドスクール

の今後の展開についての市長の見解を伺う。
昔に比べると、子どもの居場所がなくなってきた。小学校の低学年などには、ある程度共通の場所をつくる必要がある。また、子ども同士でコミュニケーションがとれなくなくなってきている。次世代のコミュニケーション能力を十分育てるためにセカンドスクールを含め、戦略的な施策が必要である。
三鷹駅北口周辺整備は、第四期長期計画調整案の中にも土地の活用方法について触れているなど、少しずつではあるが可能性が広がってきた。S O H Oを整備し、ベンチャービジネスを育成することを含め、三鷹駅北口周辺のランドデザ



インを伺う。
三鷹駅北口は、業務型のまちづくりになると考える。現在、都市計画道路調布保谷線(三・三・六号線)については交通問題や環境問題などに不安がある。内部で検討委員会を設置するとのことだが、具体的な内容を伺う。
交通量の増加が与える影響や環境緑地帯についてよく検討していきたい。
このほか、防災センター(仮称)、IT等についての質問がありました。



川上水の保全についての見解は、できることがあれば検討したいが、都の事業でもあるので今後ともいろいろ考えていきたい。
このほか、三位一体改革、路線商店街対策、ごみの有料化、介護保険、公立保育園の民間委託化、職員定数、学校給食問題に関する市政アンケートの結果等についての質問がありました。

災害とは何を指すのか

深沢達也議員

- 問** BSE、SARS、鳥インフルエンザなど、予想もつかない事態が発生し、一方でテロの問題などもある。「災害とは何を指すのか」、改めて市長の認識を伺う。
- 答** 異常な自然現象、人為的な災害に加え、米軍の落とした不発弾、テロなども今日の課題であると認識している。
- 問** 防災への取り組みとして、市民・家庭、地域、市の抱える課題はそれぞれ何であると考えているか。
- 答** 家庭では、出火防止や食糧・水の備蓄など、地域では、災害訓練への参加、市では、木造密集地域対策、防災センター設置、吉祥寺などのビル街での対策が課題だ。

子どものために、スポーツ広場の建設を

桑津昇太郎議員

- 問** 子どもたちが仲間と好きときにボール遊びができ、スポーツを身近に楽しめる遊び場、スポーツ広場の建設を求める。
- 答** 最低でも600から2,000平方メートルの広さが必要であり、なかなか難しい。
- 問** 公園には、人の目が届かなかったり美観上問題のある場所があるが、環境整備、事故防止への配慮、点検方法について伺う。
- 答** 職員の巡回管理を基本に、見通しの悪い公園は重点的に管理している。また、公園安全実態調査を年4回実施している。このほか、小・中学校の校庭にある用具の安全点検、歩行者・自転車の安全確保、職員定数適正化についての質問がありました。

一般質問



平成16年第1回定例会で、3日目、4日目で、11名の議員から一般質問が行われ、要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、議録(5月下旬発行予定)、また(第1回定例会分は5月21日登録)をご覧ください。

※一般質問とは、議員がその所属する地方公共団体の行政に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求めるといいます。

の3月4日、5日、市政全般にまつました。この中から質問項目を書館、各コミュニティセンター、議録(5月下旬発行予定)、また(第1回定例会分は5月21日登録)をご覧ください。

全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来にめることをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。.....
<http://kensakuv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/>

NPO活動の充実を求める

土屋美恵子議員

- 問** 行政のサービスや施設運営をNPOに任せる動きが大きな流れとなっている。NPOは市民の社会参加の道具であり、その発展のためには社会的投資が必要と考えるが、①現在の市内NPOの活動状況を伺う②本市においてもNPOとの協働、支援等が提言されているが取り組みは。
- 答** ①法人登録34団体、その他が18団体で、法人格の有無にかかわらず、幅広い活躍をしている②NPO事業支援補助金や、マネジメント講座の開催等で必要に応じて支えていきたい。このほか、ホワイトイーグルの事業実態についての質問がありました。

防災ボランティアの現状は

金子 武議員

- 問** 災害時に備え、自主防災組織ができていくが、防災ボランティアについて、人数、活動状況、役割分担について伺う。
- 答** 市民防災協会の防災推進員は102人で、平成15年度は1月末現在で地域の自主防災組織との自主訓練を23回実施した。役割については、今後総合的に考えたい。
- 問** 災害時は救出作業器具の不足が予想される。市民同士が貸し借りできる仕組みをつくれぬか。
- 答** 市内の建設業組合と協定を結んでいる。市民の協力を願い、よく研究したい。このほか、たばこのポイ捨てや迷惑喫煙の防止等についての質問がありました。



▲吉祥寺駅前、喫煙マナーアップキャンペーンを行うスタッフ。4月18日より、吉祥寺周辺の繁華街を「路上禁煙地区」に指定しました。同地区内には喫煙場所が4カ所設置され、それ以外の場所では禁煙となります。安全で清潔なまちのために、マナー推進員の巡回や、路上表示、ポスター等により喫煙マナー向上を図ります。

住民本位の緑町都営住宅建てかえを

向谷千鳥議員

- 問** 市が東京都と結んだ建てかえに関する協定は、建設戸数や住宅面積等で、当初の方針から後退する内容だが、見解を伺う。
- 答** 都に対してさまざまな要望を出し、基本的には受け入れられたと考えている。
- 問** 都市再生用地の土地利用について、地域住民の意向を取り入れるべきではないか。
- 答** 住民から意見を求める時期は、現段階ではなく、具体的なプロジェクトが明らかになってからであると考えている。このほか、北町調理場から扶桑通りに抜ける生活道路・通学路の安全対策等についての質問がありました。

※都市再生用地：建てかえ事業に伴い、敷地の有効活用により創出した用地。

市長の人事権を問う

さくち太郎議員

- 問** 市長は人事にどの程度かかわるのか。また、透明性を確保する考えはあるか。
- 答** 人事の責任は最終的にすべて市長にある。プライバシーにかかわるため、本人情報の開示請求以外は公開する必要はない。
- 問** 子どもたちを犯罪から守るため、市立小・中学校等に防犯カメラ等の設置が望まれるが、いかがか。
- 答** 全校で緊急通報装置、非常ベル等を設置している。千川・大野田・井之頭小学校では防犯カメラを設置し、費用対効果も含めて運用方法を検討している。このほか、年度単位の利用登録駐車場の申し込み期間についての質問がありました。

学校からの緊急連絡方法にメールの活用を

小野正二議員

- 問** 安全についての、子どもを取り巻く環境は厳しいものになっているが、①緊急時の学校から保護者への連絡方法を伺う②学校からの緊急連絡をインターネットや携帯電話のメールで配信する考えはあるのか③消防、警察、PTA等の防災・防犯ネットワークの充実をどう図っていくつもりか。
- 答** ①保護者の連絡先は、複数把握しており、学級別、地域別の連絡網を整備している②IT技術の活用には関心を持っており、今後研究していくつもりだ③不審者情報の増加もあり、緊密に連絡を取り合っている。防犯のための避難訓練も警察・消防の協力を得て行っている。

より市民に愛されるオルガンコンクールを目指して

砂川なおみ議員

- 問** 市民が国際オルガンコンクールに親しめるよう、①小・中学生がパイオルガンに触れる機会を設けてほしい②市民講座を開き、受講した方に使用を認めてほしいか。
- 答** ①研究していきたい②高度な楽器であり、だれでもというわけにはいかない。
- 問** 地場野菜を給食に取り入れるために、①提供可能な野菜のリストを作成すべきでは②農家の方のお話を聞く機会を設けては。
- 答** ①研究したい②交流給食にお招きしたり、学校菜園の指導をしていただいている。このほか、ユニバーサルデザイン宣言等についての質問がありました。

巨額の防災センター建設市民のメリットは

三宅英子議員

- 問** 20億円の巨費を投じる防災センター(仮称)建設の市民にとってのメリットは何か。
- 答** 災害時の情報収集・分析、指揮命令、備蓄機能等であるが、市民に対して直接メリットがある性格の施設ではない。
- 問** 本市防災計画における建物の被害想定について、①都の調査結果と比べ、建物の被害想定数が極端に大きい理由は②この被害想定数を減少させるために、これまで市ではどのような取り組みを行ってきたか。
- 答** ①本市独自の調査結果だ②一時(いっとき)避難所や備蓄・初動態勢等、様々な施策を行ってきた。あわせて防災センター建設や木造密集地域対策等に取り組むたい。

議員出席表

平成15年5月1日から同16年3月31日までの議員出席表がまとまりました。議員は、表に記載してある会議のほかに議会外活動として各種の委員を兼ねています。また、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、出席表には記載してありません。

表中、議運は議会運営委員会、議会だよりは議会だより編集委員会、鉄農は鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会、外環は外環道路特別委員会、決算は平成14年度決算特別委員会、予算は平成16年度予算特別委員会の略称です。

(15.5.1~16.3.31)

議員番号	議員氏名	本会議				全員協議会				常任委員会				議	議会だより	特別委員会				合計	
		出	欠	出	欠	総	文	厚	建	議	鉄	外	決			予	出	欠			
1	やすえ清治	25	0	4	0					8					9		5	5	6	62	
2	さくち太郎	25	0	4	0					9					6			5	6	55	
3	島崎 義司	25	0	4	0					8					9		6		6	58	
4	小林 清章	25	0	4	0								8				5		42		
5	小野 正二	25	0	4	0								8		9		5	6	57		
6	田辺あさ子	25	0	4	0					8				20	6			6	69		
7	梶 雅子	25	0	4	0								8				5	5	47		
8	向谷 千鳥	25	0	4	0								8						6	43	
9	本間まさよ	25	0	4	0					9				20	9	6			6	79	
10	近藤 和義	25	0	4	0								8		9			5	51		
11	鈴木 有臣	25	0	4	0								8		20		6	5	73		
12	田中 節男	25	0	4	0								8						37		
13	桜井 和実	25	0	4	0								8						37		
14	三宅 英子	25	0	4	0					8									37		
15	山本ひとみ	25	0	4	0					8				9	6			5	63		
16	大野まさき	25	0	4	0					9				20		5			63		
17	松本 清治	25	0	4	0								8	20	8				65	1	
18	砂川なおみ	25	0	4	0								8		5		5	6	53		1
19	川名ゆうじ	25	0	4	0					8				9	6			5	63		
20	井口 良美	25	0	4	0					9				20				6	64		
21	石井 一徳	25	0	4	0					9				20					58		
22	金子 武	25	0	4	0								8				5		42		
23	山下 倫一	25	0	4	0								8	20			5		62		
24	土屋美恵子	25	0	4	0								8		6				6	49	
25	与座 武	25	0	4	0								8		9				6	52	
26	桑津昇太郎	25	0	4	0					8					5	5			47		
27	寺山光一郎	25	0	4	0					9									38		
28	深沢 達也	25	0	4	0								8		20		5		6	68	
29	露木 正司	25	0	4	0					9									38		
30	水野 学	25	0	4	0					9								5	43		
計		750	0	120	0					72	56	64	56	180	80	53	45	55	84	1,615	2

地域の声を聞きマンション問題解決を

梶 雅子議員

- 問** 井の頭公園に面した住宅地に計画されている大規模マンション計画に対し、地域からは不安と批判の声が上がっている。①なぜ市は住民の声を聞かずに、高さ12メートルの4階建てを認めたのか②市に住民の立場に立った問題解決の努力を求める③この場所は、現在埋蔵文化財発掘調査が行われているが、見学会を行う考えはあるか。
- 答** ①南側にまとまった自然林が残るならば許容の範囲と考える②事業者に誠意を持って住民と話すよう指導した③住居址等が発掘されれば考えたい。
- 問** 本市で少人数学級を行う考えはあるか。
- 答** 40人定数で少人数指導等を進めたい。

障害者向けグループホーム増設を

山本ひとみ議員

- 問** 障害者が住みなれた地域でともに生きていくため、①ショートステイ施設やグループホームの整備目標の変更と増設を②ムーバス新路線にノンステップ型機種の導入を。
- 答** ①市民参加で決めた障害者計画を重視したい②車両については今後の課題である。
- 問** 西部地区のまちづくりについて、①高家賃等で戻れない方がいる桜堤団地建てかえ事業の評価は②西部図書館の存続を。
- 答** ①社会的弱者への配慮は申し入れており、事業は協定どおり着実に進んでいる②現在のところ存続する考えはない。このほか、外郭団体の見直し、性同一性障害等についての質問がありました。

委員会等の行政視察報告

市議会では、議案や陳情などの審査の参考とするために、委員会を中心に、関連の施設などの視察を行っています。今号の市議会だよりでは、今年に入ってから、3月までに行われた行政視察の状況をお知らせします。

中学校給食 (1/30・2/3 文教委員会)



◀光が丘第四小学校(練馬区)。請願・陳情が付託されている中学校給食について、1月30日に立川市と八王子市を、2月3日には練馬区と西京市を視察しました。これらの自治体ではデリバリーランチや親子給食方式などが実施されています。

防災センター (2/12 総務委員会)



◀東京都防災センター災害対策本部室。2月12日、目黒区並びに東京都の防災センターを視察しました。本市でも西庁舎への増築という形で防災センター(仮称)設置が予定されており、災害時における情報収集、指揮命令伝達、復旧活動支援といった機能が予定されています。

中近東文化センター (2/27 議員有志)



◀中近東文化センター(三鷹市大沢)。中近東文化センターは、中近東関係の収蔵施設としては国内随一といえる施設です。2月19日の文教委員会、同センターが一般展示を休止している状況とその支援事業計画について行政報告があり、今回視察を行いました。市民講座等で利用できるよう、支援事業が実施される予定です。

JR中央線西原踏切仮設歩道橋 (3/12 鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会)



◀西原踏切仮設歩道橋。JR中央線の連結立体交差化事業に際して発生した「開かずの踏切」対策として西原踏切仮設歩道橋が設置されました。仮設歩道橋は3月15日、歩道橋の両側に併設しているエレベーターは4月6日から使用が開始されています。

